

# 平成25年度 笠松力検定 上級 問題用紙 制限時間90分

## 注意事項

- (ア) 検定問題は全21問です。  
1問から20問が記述式で、21問は論述式です。  
解答用紙の記入にあたっては、1問から20問は問題で指示した語句を、21問は指示した文字数で記入してください。
- (イ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (ウ) 受検中は、監督者の指示が出るまで検定会場を退出しないでください。
- (エ) 受検中は、携帯電話等を使用することはできません。
- (オ) 受検中は、問題の内容についての質問は一切受け付けません。

## 笠松力検定委員会

問題 1 から 20 までを読み、各設問の指示に従い  
解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

1. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

松尾芭蕉の弟子の一人、各務支考に始まる俳諧の流派は、支考の号から「門」、あるいは、笠松を含むこの地方が活動の中心であったことから「美濃派」と呼ばれています。

2. 次の文章を読み、に入る苗字（氏）を漢字で書きなさい。

現在の笠松町は、江戸時代には多くの村に分かれ、それぞれの村を支配する領主も違っていました。旗本氏は、長池村、藤掛村などの領主でした。

3. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

田代の木曾川河畔にあった「」を創設した後藤新兵衛の「句碑」は、下本町の杉山邸や奈良津堤の魂生大明神、笠松中央公民館で見ることができます。

4. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

無動寺のには、岐阜県指定重要文化財の梵鐘があります。梵鐘は、高さ 97.5 cm、口径 58 cm、重さ約 225 kg で、特に音色がよいと言われています。

5. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

笠松湊には、荷を積んだ大八車の車輪が食い込まないように、大きな石を敷いた史跡があります。平成 21 年（2009）、笠松みなと公園の改修工事により、地中に隠れていた 77 メートルの石畳が姿を表し、全長メートルとなりました。

6. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

キリスト教は、豊臣秀吉が禁止してから、明治維新まで信仰することが許されませんでした。笠松には、（現在は田代の木曾川河川敷）と呼ばれる処刑場で、罪人やキリシタンが処刑されました。

7. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町を縦走する「鮎鮎街道」は、献上する鮎鮎が運ばれた道です。笠松の問屋であった下新町の高島家の前には、「笠松問屋跡」の碑と並んで、「鮎鮎の 桶かつぎ 受けわたし 人びとは への道を ひたに走りき」の句碑が建てられています。

8. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

八幡神社には、釈迦如来像を表した金属製の 3面が伝えられています。裏面には、土岐氏が奉納した様子が墨書きされています。

9. 次の文章を読み、に入る人名を漢字で書きなさい。

「米野の戦い」で、木曾川を渡って東軍の一番槍となったのはでした。その武将は、西軍の飯沼勘平長資と一騎打ちとなり討ち取られました。討ち取られた武将の墓は無動寺にあります。

10. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

笠松春まつりに登場する「おばば」は、太鼓を取り付けた「車」をかつぎ、太鼓や笛の音に合わせて「おばば」を歌い練り歩きます。

11. 次の文章を読み、に入る語句を**数字**で書きなさい。

笠松町を走る「公共施設巡回町民バス」の停留所（バス停）はか所あり、町全域を網羅しています。

12. 次の文章を読み、に入る語句を**漢字**で書きなさい。

昭和4年(1929)、岐阜県第一工業学校(現在の岐阜県立岐阜工業高等学校)の敷地内に、繊維の技術指導にあたった「岐阜県」の本館ができました。現在は、笠松町北及に移転し、「岐阜県産業技術センター」と改称されています。

13. 次の文章を読み、に入る語句を**漢字**で書きなさい。

笠松町北及生まれで、笠松町最初の「名誉町民」、岐阜県の「名誉県民」でもある古田好氏は、岐阜県議会議員を長く務め、「ぎふ中部博覧会」の開催に尽くしました。

14. 次の文章を読み、に入る語句を**漢字**で書きなさい。

消火・火災予防、救急・救助を専門に行う機関は、笠松町には西消防署が、岐南町には東消防署があり、消防本部は笠松町美笠通にあります。それまでの羽島郡消防事務組合に代わって、平成14年4月、「羽島郡」が誕生しました。

15. 次の文章を読み、に入る語句を**カタカナ**で書きなさい。

笠松町は、海外の風土や生活習慣や語学を学ぶことを目的に、次代を担う中学生をアメリカ合衆国の（地名）に派遣する青少年海外派遣事業を隔年で実施しています。

16. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

平成 25 年(2013)、笠松町は内閣総理大臣から「国際戦略総合特別区域」の「No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定されました。

17. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

昭和 44 年(1969)、全国でも珍しい機関の共同設置による「羽島郡教育委員会」が設置されました。その後、名称変更し、現在の名称は「」です。

18. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治 5 年(1872)8 月に「学制」が制定されると、同年 11 月、笠松村と徳田・田代村が連合して「義校」が設立されました。それは、現在の笠松小学校の前身です。

19. 次の文章を読み、に入る人名を漢字で書きなさい。

は、享和 3 年(1803)笠松村で生まれ、15 歳で父に代わり儒学の講義を行いました。天保 5 年(1834)、笠松に「喬木塾」を開き、子弟に漢学を教えました。

20. 次の文章を読み、に入る共通の語句をカタカナで書きなさい。

地方競馬と中央競馬(JRA)の「交流元年」と言われた平成 7 年(1995)に、笠松競馬所属のまま中央競馬(JRA)の「4 歳牝馬特別 (GII レース)」で優勝したは、現在も笠松競馬場で開催される「記念」に名を残し、その功績を称えています。

問題 21 は、800 字以内で記述してください。

21. 木曾川に接する笠松町は、木曾川との関わりを抜きにして語ることはできません。笠松町と木曾川との関わりが深い歴史と自然の中から、重要なものをそれぞれ 1 つ挙げて説明し、これからの笠松町の発展のために木曾川との関わりをどう活かしていくと良いか、あなたの考えを述べなさい。